

青少年のための科学の祭典

令和6年9月10日

9月7日(土)～8日(日)に「青少年のための科学の祭典」がバンドー神戸青少年科学館で開催されました。2日間のうち、7日(土)にブース「できるかな?この立体!PART2」で、本校2年生の4名の生徒がスタッフとして参加しました。

ブースの出展内容は、図形(正三角形、正方形、正五角形)を頂点のまわりに規則的に配列するときに見える立体を考え、実際に作るというものです。規則的につなげるだけとはいえ、大人でも完成させるのは難しく、生徒自身も事前に練習し当日を迎えました。

ブースには、小学生低学年から大人までたくさんの方々が来られました。参加したのは「教育」に興味ある生徒ばかりで、最初から笑顔で子どもたちを迎え入れていました。苦戦する場面もありましたが、楽しそうに子どもたちの話を聞いたり話したりする姿がとても印象的で、おかげでとてもたくさんの子どもたちがブースに興味を持って足を運んでくれました。

今回の経験で、生徒たちは教えることの大変さを痛感しながらもやりがいを感じ達成感を得たようです。引率された先生は、「教育は『教える』や『説明する』だけでなく、共に『考える』『ひらめく』ということが大切だと思う。」と話していました。生徒もそのことを感じ取っていれば嬉しいです。

